

通信・放送確保訓練の振り返り勉強会を福井で開催

総務省北陸総合通信局（局長：濱島 秀夫）は、平成29年12月22日（金）、平成29年度福井県総合防災訓練にて当局と連携して通信・放送確保訓練を実施した地方公共団体及び放送事業者のご出席を得て「通信・放送確保訓練に関する勉強会」を福井市地域交流プラザAOSSAで開催しました。勉強会では、訓練を振り返り、災害対応の手順や連携体制を再確認するとともに、地域防災力のさらなる強化に向けた今後の課題を議論しました。

開会にあたり、北陸総合通信局の瀬高隆裕防災対策推進室長が「今回の勉強会を通じて、福井県、南越前町、NHK福井放送局、NPO法人たんなん夢レディオ、北陸総合通信局の連携をさらに強化し、地域の安心・安全に貢献したい。防災訓練をきっかけとして、南越前町とたんなん夢レディオが臨時災害放送局の開設に関する協力協定を締結したことは地域防災力のさらなる強化につながる取組」と述べました。

勉強会では、NHK福井放送局から、臨時地デジ中継局開設訓練の成果を発表していただきました。続いて、たんなん夢レディオから、実際に訓練当日に放送したラジオ番組を再生しながら臨時災害放送局開設訓練の成果を発表していただきました。その後、災害時に住民向けの放送を確保する重要性や課題、その開設手順や役割分担について意見を交わしました。

出席者からは、「被災住民にとってテレビ・ラジオは重要な情報入手手段であり、それらの迅速な確保のための備えは重要」「防災行政無線は機密性の高い住宅内や高齢者・外国人には聞き取りづらい場合があるが、臨時災害放送局（FMラジオ放送）は長文や多言語による放送が容易」などの意見が寄せられました。

今後の取組として、「地デジ中継局が損壊した場合の代替中継局の設置方法の検討を引き続き進めていく」「臨時災害放送局では行政情報はもちろんのこと被災者の気持ちに寄り添った放送を心がけることが大事であり今後も訓練の積み重ねが重要である」ことを確認しました。



挨拶する北陸総合通信局 瀬高防災対策推進室長



勉強会の様子

勉強会出席者の皆様



福井県安全環境部危機対策・防災課
(左から)野路課長、山本主事、辻村主事



南越前町総務課
(左から)北野課長、市村室長補佐、坂口主事



NHK福井放送局
鈴木技術部副部長



たんなん夢レディオ
菅原理事長



北陸総合通信局
(左から)綿谷放送課長、竹田課長補佐

今後も当局では、災害時における住民への迅速かつ正確な情報伝達手段の確保に資するため、実践的な防災訓練の実施の他、このような勉強会の開催など自治体や放送事業者との定期的な情報交換に取り組んでまいります。

お問合せ先

防災対策推進室、放送課 076-233-4479